様式1

平成２８年度　学校評価表

学校教育目標	心豊かにたくましく　共に学び伸びるけやきっ子の育成

a ミッション	〈小中連携による学力向上の取組の充実と成果の発信〉 ○授業改善を中心とした基礎学力の向上 ○言語活動を中心とした特色ある教育活動の推進	a ビジョン〈学校教育目標：心豊かにたくましく共に学び伸びるけやきっ子の育成〉の具現化のために ○自分の考えを持ち表現できる児童の育成を目指した学習活動の展開 ○心や体を鍛えるとともに食育教育の充実 ○自己肯定感や規範意識を育み意欲や耐性を高める道徳教育の展開 ○地域人材を活用した授業と体験活動の推進と積極的な情報発信

尾道市立御調中央小学校

評価計画							自己評価					学校関係者評価				改善計画
	b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	担当者	f 目標値	7月 g 達成値	1月 g 達成値	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価 イ	ロ	ハ	l コメント	m 改善案
確かな学力の向上	教科指導の充実と確かな学力の育成	基本的な学力の向上	繰り返し徹底によるスキルアップ（ドリルタイム・授業・家庭学習）授業改善による活用力の向上	単元末テストでの技能点が期待平均点以上の児童の割合	坂本・岩﨑	80%	93%				ドリルタイム・けやきタイム・さよならドリル等，時間を確保してくり返し取り組むことができた。全体として，考え方の領域の達成率が低い.	3			学年によって数値の差が大きいので，底上げが必要である。理解の不十分な児童に対する手立てに力を入れてほしい。	授業の中でしっかりノートに自分の考えを書かせるなど，思考力を高める指導を意識して行う。
				標準学力調査において全学年が全国平均点以上（年度末）	山口・谷川	100%					（1月実施のため未記入）					単元末テストで全員が１００点を取るまで繰り返し指導し，当該学年にふさわしい基礎の力をつける。
			読書目標カード作成による読書量UP	各学年読書目標を達成した児童の割合	大田・吉田	80%	73%				読書時間の確保が難しい学年があったことや，家庭での読書記録の徹底・確認が不十分だったことが課題である.	2		1	子ども達に読ませたい本や先生が感銘を受けた本を紹介することも読書への関心を高めるのによいのではないか。学校での読書時間が限られるので、家庭読書の取組をしっかり進めたらよい。	今後は，掲示を活用して目標と現状を見える化し，児童の意欲を高めるとともに，各学級で確実に記録・確認していくことを徹底する。
豊かな心の育成	意欲や耐性を高める道徳教育の充実	自己肯定感を高め，他のよさを認められる集団の育成	誕生日を祝う全校朝会の充実	自分のよさを3つ以上，友だちのよさを一人１つ以上言える児童の割合 児童居心地点検結果〇の割合	佐藤・三島	100%	78%				自己肯定感は，例年８割を超す児童が自分のよさや友だちのよさを言えている。クラスによって自己肯定感の数字に差があるのが課題である。課題が０といえる子は９８%と多いが，日常の小さなトラブルは些細な事を含めると多い。これからも解決に向けて取り組む事が大切である。	3			表に見えないトラブルへの対応等，課題が多くなっているので取組を継続してほしい。	誕生日朝会でしっかり全校に声が届くように児童会を中心に前日練習を仕組んで盛り上げる工夫を行う。また，自己肯定感を高めるために，学級で「ほめほめコーナー」を作るなど呼びかける。
		規範意識の育成	あいさつの徹底	地域の方・先生・友達に毎朝１０人以上挨拶をしたかを点検し，合格した児童の割合（教職員チェック）	太田・木村佳	90%	62%				「自分は元気な挨拶ができる」と言える児童は多いものの，10人以上に挨拶できたかと聞かれると，できていないという児童が多く見られた。仲のいい友達や，関わりの深い先生や地域の方にのみ挨拶をしていることが現状である。今後は，児童の挨拶の仕方についての指導を充実させ，出会った人には挨拶をするという習慣が身につくようにしたい。	3			家族で，朝挨拶できる子どもは外でもできていると思う。 挨拶については，保護者の責任が大きいと思うので，参観日などの懇談会で保護者への声かけなどを考えてほしい。	特命委員によるあいさつの良い児童の評価や，地域からの声を伝えていき，あいさつへの意識を高めていく。また，あいさつ名人への表彰を続け，あいさつ名人への評価を学級でもしっかりしていくよう呼びかける。
			無言掃除の徹底	無言掃除ができた児童の割合（教職員チェック）	金	100%	87%				無言掃除ができている児童は87%で，多くの児童が無言掃除を意識してできている。無言掃除で効率的にきれいにしていくことが目的だが，掃除のやり方や丁寧さなど課題がある。	3			無言掃除にこだわらず，声かけなどしっかりして，掃除を楽しむ方法にもっていくことができればよいと思う。	児童一人ひとりの掃除分担の役割を明確に持てるよう，掃除後の反省会で担当指導者が確認指導する。 自分の掃除の役割を意識した活動を継続する。
健やかな体の育成	食育の充実とたくましい体力の育成	基本的食習慣の確立	主食の摂取量の増加により健康増進	毎月19日に望ましい量の主食を持ってくる児童の割合（教職員チェック）	池田・坂本・高田	50%	36%				1学期は，給食時間に食べきれる量を保護者が持たせるため，ご飯の持ってくる量が少ない。特に1年生は，12%の児童しか定量を持ってきていない。高学年女子の持ってくる割合も少ない。しかし，1学期末になるにつれて，持ってくる量が徐々に増えてきている。	2		1	ご飯だけでなくおかずもきちんと食べるよう指導するしてほしい。 目標値が低すぎるのではないか。 保護者に協力を強く要望することが必要である。	保護者に，参観日等にご飯の必要量と実際に持ってきている量を展示し，主食の大切さを啓発する。児童には，ご飯もりもり週間に加え，５のつく日をご飯の日にし，給食委員会が放送などで呼びかける。
		基礎体力の向上	運動タイムの徹底による体力向上	一生懸命体力づくりに取り組む児童の割合（児童アンケート）	内海・福島・篠﨑	100%	80%				学年始めは，気候も良く，児童一人一人の目標に向けてがんばる姿が見られた。係を中心に準備体操もできるようになってきた学年もあった。暑くなるにつれて高学年の児童で最後まで完走しない児童も出てきた。	3			高学年の児童が手本となるような運動タイムにしてほしい。	児童が運動タイム後に記入する習慣がつくように，より書き込みや，自己チェックがしやすいカードに改善する。ペースをつかみやすいように決まった音楽を流す。
信頼される学校	地域の誇りとなる学校づくりの推進	積極的な地域への情報発信	ホームページの計画的更新と内容の充実	ホームページ更新回数（毎月２回以上）	篠﨑・金	100%	75%				毎月１～２回更新している。 学年便り等、まとめて更新することがあった。 年度始めに提案したホームページ作成が計画的に進んでいないことが課題である。	2	1		毎月決まった日，１日のみとしたらよいと思う。	年間計画は作成したが、それが確実に実施できているかという確認が不十分であった。２学期から，担当者は、更新するまでを把握・確認し，未更新の場合には，しっかり声かけをしていく。

【自己評価　評価】
Ａ：１００≦（目標達成）　Ｂ：８０≦（ほぼ達成）＜１００
Ｃ：６０≦（もう少し）＜８０　Ｄ：（できていない）＜６０

【外部評価】　イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。　ハ：わからない。